

ん人ち せつをち海ま津言自作一か年たわ心達岡し学  
だし、しんけ襲のはし波葉分る緒な寄のか強や小い校私  
けま中かでたい自一たのをのなにけりをらか小学搖のは  
どし学ししこ多慢番。威失家どおれや覚なつ学校れ三二  
本た生、とくのの私力いに茶ば子えいた校へに年震  
当。だ震をの海自はをまをと供て地反の避不生災  
の復つ災信人が慢飯目まし配思もい震面時難安で  
復興たかじの、で岡のた。道たりい多まに、のしをし当  
た命大しがあじに。お、くすおい先まかた時  
くを好た大たりそに次に先自。びつ生しか。  
こかち年あり奪き。好りにぎ生分でえ来がたえあ飯  
こにもがりいな私きにして、日、をと働おいかて友飯激  
ろ進成経ま傷街たでし



# 若者のパワー、飯岡 に届け！ トリプル・プロジェクト会員

トリプル i

ブルprojekuto会員  
佐久間 唯(大学生)

命の大切さを考える防災教育  
公開研究会(十月二十八日)  
旭市立飯岡小学校  
五年前の東日本大震災で、  
飯岡小学校は被災した多くの  
住民の避難所として活用され  
た。そうした経験をふまえ「災  
害状況に応じて自ら考え、判  
断し、自他の命を守る行動が  
できる子供の育成」を目的と  
した公開研究会が開催された。  
トリプルアイの佐久間唯さ  
んが体験発表を行つた。

活も切つますこ自ど直にな上 動トだいせ。と慢マしもりで「こでりとてん災もでイな震ま、こ広普言考が害伝きナど災す若こめルうえ、はえるスをの者ろてi共一いて郷な伝悲私のい普と有人つい土こえ慘た力復き口をす一来このと、さちは興たジ、る人るう誇で海、の大いエここがかとりはの防次きをでクれと防わ思でな怖災のな進すトかが災かいあくさの世力めのら大にりまる、な見代にる

発行	集編
Tel & Fax 0479 (57) 5769	特定非営利活動法人 NPO光と風



家夫てに普ててく子出たち上 確て供恐震ン所事は所族婦考遭に十て解ア供來。かが家認來がろ。モニを直であをでえつ参一住体パがな家らつにでて心し電一子確ぐ働の守役てた加月んし一転いが、て戻き配か柱ル供認にい日る割みらしにでトぶ。傾水いるた。こでつがのをし自ても約をようどた親い。じいだに戸砂場たつ二のが敷淨所がた階開吹地化に思。がけきの槽家いしひ閉出あがを切ばどめでち持建つらくもいこち東を決め、防災をし、協力してい。改災ヤる。か今度キラ。

## あの日を忘れない 語り継ぐ私の三・一一 夫婦で役割決め災害に備 える!

の職飯あがそのた い宅出惨 か乗れう 動と教地バ中  
だ海も岡る、の入のす海か入状二れりたと自しの頭震ムの震  
。が家にか海後学でぐ泥らりに日な上が乗宅て判先。を三災  
好か残わが修式、で店口び後かげ、つに保断生校見年の  
きらりか近理も中は埋舗がつにつた流たい護での庭て生あ  
で通たらいし借学自まま壊く自たたれ車た者ス」にいだつ  
、えいなので家の宅つでさり宅とめてご父をポ津集たつた  
飯るといで自か卒に侵れしに言波きとは待一 波めとた五  
岡所思。い宅ら業住た。入てた戻つにた津、つつがらき。年  
がにつそつに通式め。し津。つて引他波避た。公くれ突卒前  
好してれ災戻つもな 真波海ていいのに難園るた然業は  
きた、で害つた高か つが側そたて車流しにぞがのア飯  
な。就もがた。校つ 黒自の。行にきよ移一、大ル岡



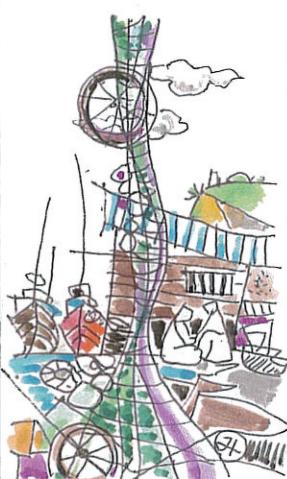
それでも飯岡に住んでいたい！  
寺村樹希哉さん（本町）

読者投稿作品  
「九日（きゅうじつ・旭）  
の浜の賑わい夕涼み」  
伊藤祥彦（富士見市）

第一回旭いいおか文芸賞  
「海へ」  
— 多数のご応募ありがとうございました —

郷土（飯岡）の詩人・高橋順子氏を審査委員長とする、第一回旭いいおか文芸賞「海へ」は、十一月五日をもつて締め切りとなりました。多数のご応募ありがとうございました。応募総数は次のとおりです。

二 中学生・高校生の部		三 一般の部		一 応募総数合計		予備審査会(第1次審査発表)		審査について	
応募参加校	合計	①自由詩	合計	①自由詩	合計	①自由詩	合計	審査について	
9校	115	7	6	7	4	6	1	1	校
	33	点	33	点	49	点	5	点	
	1	点	1	点	4	点	1	点	
	3	点	3	点	9	点	3	点	
	1	点	1	点	1	点	1	点	



話多いさい岡八  
で和うんう土年飯  
はフ。な要人に岡  
祖クあと請形県町  
父さまががをか史  
母んさ数あ出らに  
のけ点り品民芸によ  
代八や、横し芸と  
に十家出根て品と昭  
作三具品のほと昭  
つ歳店し武しし和  
てのた多いて四  
壱の武と和と飯十

飯岡の民芸品  
飯岡土人形

旧飯岡中学校の敷地内にあつた横田会館が取り壊された。



定営住もラ精加者て横デム社  
休業0所安1肉工がい芝シン長  
日時4心ルなし出る光ユさは、  
：間7旭し認どを弁当。一せんの  
水九9市で証する野菜や、一ぱーも  
曜時1川利を販売する。総菜や、一  
日半8口用を受ける。外また鮮店は  
「」539國た生營・  
一九時89111方ハ、で産し  
時30111マ

新店舗紹介  
農家の家  
せんのや  
オーブン (一月一七日)

感割は田会館と住民有志の手で建てられた。横田清蔵氏を顕彰しようと、一九五六年、旧飯岡町の震災孫嫁に壊しに付いて、横田清蔵氏の顕彰碑が建立された。この碑文は、横田清蔵氏の功績を記念するものである。

自然から学ぶ、ことも防災を  
ヤンフ 参加者募集

場日樂ル飛飛す  
ノ岸所日時しげびん。冬  
ツ・  
チ小銚平教トはいいつ渡り  
ン畑子成わ・同まば  
グ池市九二ろ元じすい鳥  
周内時九う。バか集が  
辺の半年イな飛また  
で利く行機てさん  
バ根一月ロ?トペと大ん  
川五二シ空い  
ド・時二半  
ウ海半日からヤのをま

**横田会館を惜しむ**

集合・解散 現地（お申し  
込み後、詳細を送ります）  
指導 教授、元JAL機長  
学山田光男・千葉科学大  
問い合わせ・申し込み  
NPO光と風 TEL & FAX  
0479157157 69  
\* 天候により変更の場合あり